

秩 建 号
平成20年10月14日

国土交通省 道路局長 様

秩父別町長 神 薮 武



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
このことについて、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道・秩父別町

1. 道路施策の進め方については、「選択と集中」「成果志向」「厳格な事業評価」等の方針が示されている。

費用対効果を優先しながら事業選定を行うことは道路整備を進めて行く上でも已むを得ない事ではあるが、やはり都市部と地方（農漁村部）とのバランスを考慮しながら道路など社会資本の整備を進めて行かなければ、将来的には都市と地方の歪み（格差）が大きくなってしまふ恐れもある。

地方（農漁村部）にあってはこれからも食糧供給基地としての役割担うべく様々な施策に取り組んでおり、地域の将来を担う人材の育成はこうした意味において重要な施策の一つである。

しかし、道路など社会資本整備の遅れが生産物の円滑な輸送に支障をきたし価格面での影響を受けたり、通院や通学等において住民負担が重く感じられて来ると、やがてその事が基幹産業の衰退や若年層だけでなく様々な年齢階層での人口流出といった事態に結びついてしまふ懸念もある。

このため、道路整備をはじめ社会資本の整備を進めるにあたっては、費用対効果も必要な事ではあるが、地方にあっては、様々な施策を通して地域の活性化を進めていることをご理解戴き、今後も地方の活性化に配慮した施策に努めて戴くとともに都市部との大幅な歪み（格差）が生じない資源配分にご配意願いたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②—1 地域の現状と抱える課題

北海道・秩父別町

○現 状

(1) 国道について

- ① 国道233号線が本町の東西を縦貫している
- ② 国道部の市街地区には融雪溝が整備されている。

(2) 道道について

- ① 道道妹背牛・沼田線及び小藤・沼田線が町の南北を縦貫している。
- ② 道道の市外地区には融雪溝が整備されている。

○課 題

- ① 適宜、道路の補修がなされており、冬期間の除雪も迅速に行われている。
- ② 融雪施設の維持管理には特段の配慮がなされ、地域住民もこの施設をたいへん重宝し活用している。
ただ、沿線住民の高齢化が進んで来ており、除雪作業の協力体制や転出等により空き家が生じた部分の除雪について、今後地域が一体となって検討を進める必要がある。
- ① 適宜、道路の補修がなされており、現在、小藤・沼田線で路盤改良工事が行われている。
また、冬期間の除雪も迅速に行われている。
- ② 融雪施設の維持管理には特段の配慮がなされ、地域住民もこの施設をたいへん重宝し活用している。
沿線住民の高齢化による今後の課題は国道と同じである。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (No.2)

様式②

○現状

(3) 高規格道路について

- ① 本町にはIC及びPAが設置されている。
- ② PAにあっては本町の観光施設（バラ園）と一体となった整備が行われている。

(4) 町道について

- ① 町道路線は全町を網羅し、また舗装率も高く（84 %）良好な道路環境を維持している。

○課題

- ① 計画区間である留萌までの早期開通をお願いしたい。
- ① 町道の高齢化が進んできており、今後はこれらの道路改良工事を進めて行く必要があるが、これに要する財源措置が必要である。
- ② 橋梁の長寿命化に向けての取り組みを早期に実施して行く必要があるが、これについても財政運営を充分考慮する必要がある。

②—2 地域の目指すべき将来像

北海道・秩父別町

本町が目指す将来像は「町民誰もが安全で安心して暮らせる町づくり」である。

これに向けての道路施策については

- (1) 高齢化が進む町道の計画的な補修
- (2) 橋梁の長寿命化に向けた早期の取り組み
- (3) 国道、道道の融雪施設の管理運営と沿線住民の除雪協力体制の維持
- (4) 近年の異常気象に対応した道路施設等の防災対策への取り組み
- (5) 冬期間においても、常に町民の生活路線の確保を図る除排雪体制の維持

以上の5項目が大きな命題である。

こうした取り組みを実現するためには財源の確保が必要であり、国の道路施策に期待するものである。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道・秩父別町

該当なし